幼児教育学科

科目名: 教育実習Ⅱ					担当教員 氏名: 石津、山本、岡野、小川、藤井、宮越
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
2	2年次 後期	専門科目	実習	選択	幼稚園教諭二種免許状科目(必修)

実務経験を用いてどのような授業を行っているか:	実際の幼児教育現場において教育実践や実務を体験することを通して、幼稚園教諭としての資質や専門性について実践的に学び理解を深める。

授業科目の学習教育目標の概要:	キーワード
教育実習Ⅰでの学びを踏まえた上で、幼稚園における10日間の実習を通して、そこで生活する幼児の発達や遊びの姿を理解し、幼児教育の方法や援助・指導について具体的に学ぶ。	・幼児の発達 ・幼児の遊び ・幼児教育の方法 ・保育援助・指導 ・協働 ・職業倫理

授業における学修の到達目標

学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)	自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号) 2. 5. 6. 7. 8. 9. 10
A 知識・理解力	幼児一人一人の発達や遊び、幼児同士のかかわり・教師とのかかわり、集団としての育ち等について多面的・多角的に理解を深める。
A 知識・理解力 B 専門的技術 C 論理的思考力 D 問題解決力	具体的な保育・幼児教育の方法、保育援助・指導について、保育の計画、実践、観察、記録および自己評価等について実際に取り組むことを通して、総合的に学び理解を深める。
F チームワーク・リーダーシップ G 倫理観 H コミュニケーション力	幼稚園内、および、家庭や地域社会との協働・連携について理解を深めると共に、幼稚園教諭の職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解する。
E 自己管理力	幼稚園教諭としての自己の課題を明確化する。

成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする

テスト: %	レポート: %	発表: %	実技試験: %	その他: 100 %

特記事項:
実習先幼稚園の評価に担当教員の評価を合わせ、総合的に評価する。

アクティブラーニング要素:
課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク

ﾃｽﾄ・ﾚﾎﾟｰﾄ・発表・実技試験等の実施時期:

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:

授 業 計 画	準備学習(予習・復習等) 学習内容	学習に必要な時間(分)
※実習先幼稚園のプログラムに沿って実習を行う。		

使用テキスト: なし	その他参考文献など:

受講上の留意点(担当者からのメッセージ):
実習は子どもたちの生活の場で行われます。そのことを十分認識し、社会人としての自覚をもって実習に臨んで下さい。
尚、教育実習Ⅱへの参加は、教育実習指導やその他幼稚園教諭免許に必要な科目の履修状況、教育実習Ⅰの実習状況や評価、短大生活への取り組み等に基づいて総合的に判断されます。